

RBSS 基準（優良防犯機器認定基準）

（機器）申請書類用ファイル作成要領書

1 共通事項

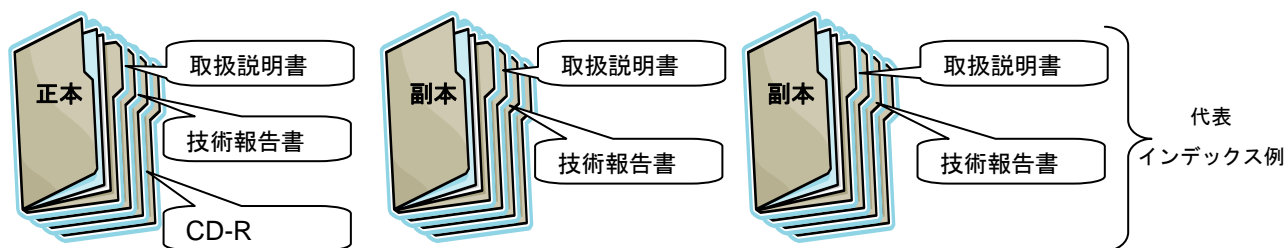
1.1 申請書類のファイル形式について

【ファイル数】 正本1冊（押印欄に朱印があるもの）、副本2冊（写し）

【ファイル形式】・A4縦（目次のインデックスを付与すること）

・ファイル種類：背表紙は厚紙とするが、提出書類の多さにより適宜選択をすること。

（例）KING GIM A4-S NO.973N



【表紙】 下記の項目等を記載すること

優良防犯機器認定制度（機器）申請書一式

申請者：****株式会社

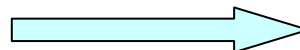
機器品目：防犯カメラ

型式：ABC-DEF001
(シリーズ申請の場合は***シリーズと記述)

正本

あるいは
副本

【背表紙】 右欄の縦書きの項目等を記載すること。



優良防犯機器認定 申請書 防犯カメラ ABC-DEF001

1.2 RBSS 申請書類ファイルの目次

RBSS の各種申請において、申請書類一式を技術報告書として下記要領で提出することを原則とする。

1.2.1 【防犯用カメラ】を申請する場合

申請タイプの NTSC 対応欄は NTSC 対応防犯カメラ、IP-IF 対応欄は IP-IF 対応防犯カメラを申請する場合に提出が必要なものである。

ハイブリット防犯カメラを申請する場合は、その両方の対応の提出が必要である(両方が同一内容の書類等の場合は、代表申請タイプで可とする)。

1.2.2 【デジタルレコーダ(防犯用)】を申請する場合

申請タイプの NTSC 対応欄は NTSC 対応デジタルレコーダ(防犯用)、IP-IF 対応欄は IP-IF 対応デジタルレコーダ(防犯用)を申請する場合に提出が必要なものである。

ハイブリットデジタルレコーダ(防犯用)を申請する場合は、その両方の対応の提出が必要である(両方が同一内容の書類等の場合は、代表申請タイプで可とする)。

1.2.3 目次について

目次構成は表 1 の No フォルダーに基づいた順番を基本とする。

表 1 申請ファイル 目次の構成(代表例)

No	項目	申請タイプ		申請書ファイル			備考
		NTSC 対応	IP-IF 対応	正 本	副 本	申請事業者 控え	
1	申請書等						機器認定に関する申請書の代表例を示す。その他、事業者資格審査等は申請書類作成要領に基づくこと。
1.1	優良防犯機器認定申請書	○	○	1	2	1	(申請) 新規、OEM、シリーズ、変更、更新等
1.2	同一性証明書	○	○	1	2	1	OEM およびシリーズ申請時に提出すること。
2	技術報告書 及び関連資料 ⁽¹⁾	○	○	1	2	1	
2.1	取扱説明書 等	○	○	1	2	1	製品カタログ、製品仕様書、外観図、施工要領書等を含むこと。 ドラフト版で可とする。
2.2	技術報告書	○	○	1	2	1	認定基準の技術報告書様式に基づき提出すること。
2.3	技術解説及びソフト等	○	○	1	2	1	認定基準の技術報告書で補足解説が必要な項目について A4 版書類または CD-R 等で提出すること。
2.4	評価試験実施の画像データ	○	○	1	2	1	提出用画像データを必要とする場合は、閲覧するソフトと共に CD-R 等に記録し、明細書添付で提出すること。

3		推奨機器						
	3.1	推奨機器 ・防犯カメラの申請時は、推奨デジタルレコーダを提出 ・デジタルレコーダの申請時は、推奨防犯カメラを提出						組合せ推奨品がある場合は提出する。
	(a)	推奨一覧表	○	○	1	2	1	性能評価試験行なった機器。
	(b)	カタログ・製品仕様書	○	○	1	2	1	適合基準概要が判る資料、ドラフト版で可とする。
	(c)	評価画像データ	○	○	1	2	1	推奨機器の標準画像確認方法に基づき CD-R 等で提出すること。
	3.2	推奨スイッチングハブ関連						組合せ推奨品全てについて提出すること。
	(a)	推奨品一覧表	—	○	1	2	1	相互接続評価試験行なった機器を指定様式に基づき提出すること。
	(b)	カタログ・製品仕様書	—	○	1	2	1	ドラフト版で可とする。
4		CD-R（申請書類一式）	○	○	1	—	1	認定取得後の最終修正の反映版を PDF 形式の電子データとして提出すること。
5		実用動作サンプル	○	○	—	—	1	主要な型式の申請時、動作確認が出来る最小限の組合せシステムを準備すること。（例：IP-IF 対応防犯カメラの場合、確認用推奨スイッチングハブ、推奨デジタルレコーダ等） 審査会議又は判定会議終了後に返却予定

提出内容：正本(1冊)、副本(2冊)

ファイル形式：A4 縦(目次のインデックスを付与すること)

注^① 2.1～2.4 項は、OEM、シリーズ、変更、更新等の申請において、特に、防犯機能・防犯性能に係る内容に変更がある場合に提出することを原則とする。

注記 (1) 技術報告書の様式は、当協会 HP からダウンロードした標準様式に記載すること（朱記等の記載例がある場合は、削除・修正して利用すること）。

(2) 複数とは、シリーズ申請等において型式が複数の場合に本同一ファイルに収納できる数を意味し、その合計数は4型式までを原則とする。

(3) シリーズ申請の型式を追記する場合、各型式がインデックスにより順番に区切りファイリングすること。

(4) 2.1 項は、各型式が共通製作の場合、一冊で可とする。

(5) 2.2 項の技術報告書及び技術解説書の順番は、技術報告書 作成要領書に基づき、RBSS 基準の項目順番に並べること（高度機能については選択した事項とすること）

【改訂履歴】改訂・追加・訂正・削除などの履歴

(2) 2010.10.5 改訂

- ・“RBSS 2010” 基準として改正した内容を反映するために、【申請タイプ】 NTSC 対応、IP・IF 対応、ハイブリッドの 3 種類に対応した。

(1) 2008.10.31 改訂

- ・注記 (2) ～ (4) の順番変更及び文章表現を一部訂正した。